

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日
平成 22 年 3 月 日

Table with columns for 事務事業名, 区分, 事務事業No., 課内No., 政策体系上の位置付け, 行政評価施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名, 予算科目, 法令根拠, 事業期間, 単年度のみ, 単年度繰返し, 期間限定複数年度.

[Do] 1. 事務事業の現状把握 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

市内単位子ども会および育成会並びに指導者の活動を調整・援助し、子ども会の発展と次世代を担う青少年の健全な幾市を図るために実施する。
・総会、役員会の実施
・球技大会の実施
・キャンプ大会の実施
・歩け大会の実施

(1) 事務事業の目的

Table with columns for ①手段(21年度 実際に行った主な活動), ②対象(誰、何を対象にしているのか), ③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか), ④結果(どんな結果に結び付けるのか), ⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標), ⑥対象指標(対象の大きさを表す指標), ⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標), ⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標).

(2) 指標値の推移

Table with columns for 区分, 単位, 18年度(実績), 19年度(実績), 20年度(実績), 21年度(実績), 22年度(計画), 23年度(目標). Rows include ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table with columns for 18年度, 19年度, 20年度, 21年度, 22年度, 23年度, 期間限定総投入量. Rows include 財源内訳(国庫支出金, 県支出金, 地方債, その他, 一般財源), 事業費計(A), 人件費(正規職員従事人数, 延べ業務時間, 人件費計(B)), トータルコスト(A)+(B).

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

子ども会の発展と次世代を担う青少年の健全な育成を図るために実施。始まりは昭和30年代？
少子高齢化委による会員数の減少

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

対象者には好評である

事務事業名	市子ども会育成連合会運営助成事業	事務事業No.	32534068	所属課	文化生涯学習課
-------	------------------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 施策の体系②生涯学習・芸術文化活動の推進に結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) 団体運営については今後、行政主体の運営方法を改め、自主的運営をしながら組織の活性化を図れるようにしたい <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?) 子ども会員および育成者並びに指導者が対象となるため妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である
有効性	④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 自主的な事業運営の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 廃止・休止すると各単位子ども会の交流の場がなくなってしまう <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) 他に手段がある <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に類似事業がない <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる
効率性	⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)) 会費および個人負担金を増やす <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?) 子ども会運営事業を自主運営に移行できれば削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない
公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 桜川市内の子ども会員および育成会員すべてを対象としているので公平と思われる <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(3)-1 改革改善策 行政主体の運営方法を改め、自主運営をしながら組織の活性化を図れるようにしたい	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ・現在は行政ですべて行っているが、徐々に役割分担を子ども役員等に任せ、行く行くは自主運営に移行できるようにしたい。 ・事業内容についても今後、子どもの数が減っていくので検討していく必要がある。																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 未
(3) 2次評価における改革改善案	(4) 2次評価における指摘事項